

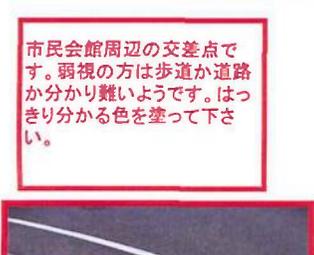
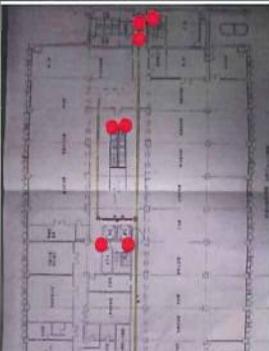
承認	「リスクアセスメント」										RST	作成										
視覚障害者誘導用ブロック・警告ブロック																						
実施者 愛敬 重之			実施期日 2011年3月11日			調査箇所: 桑名市本庁舎・中央公民館・市民会館・桑名市民病院																
ハザード (危険源)	危険・有害状態の洗い出し	危険の重みづけ(リスクアセスメント)					リスクコントロール					結果検証										
		リスクの見積り			リスクレベル評価		リスクコントロール					法令に照らして問題	リスクレベル再評価	検証者サイン								
(設備・作業・状態)	(表現例) ○○が△△して□□になる、又は○○が△△なので□□になる等危険を推測する	ケガの程度 A	発生可能性 B	近づく頻度 C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル	改善優先順位	対応策					ケガの程度 A	発生可能性 B	近づく頻度 C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル	法令に照らして問題	リスクレベル再評価	検証者サイン		
通路(階段)ブロックの設置違い	各公的施設において「視覚障害者誘導用ブロック」の設置方法があいまいで視覚障害者や高齢者が転倒して脚や腕など骨折する	7	4	4	15	III	1	【桑名市担当課記入】何をどのように 市民会館の館長とも情報交換を密にしております。只今市民会館周辺の歩道と道路の境界が分かるようにポールに色を塗り対策しました。エレベーターとトイレの部分は今年中に改善します。										総務・教育・保健福祉	市民会館は今年中	ハリアフリー新法より		

参考) 危険の重みづけの方法

- ①リスクの見積りをします
尚、リスク見積り時に意見が分かれたときは、大きい値を採用します
- ②リスクポイント(合計値)を基に、リスクレベルを評価します

リスクの見積り基準			リスクレベル評価基準			評価及び対策方針	
ケガの程度(A)	発生可能性(B)	危険に近づく頻度(C)	リスクポイント	リスクレベル	評価	対策方針	
死亡、永久労働不能	10点	確実である	6点	頻繁	4点	16~20	IV 許容できない 作業を中止して対策する
重症、障害の残る災害	7点	可能性が高い	4点	時々	2点	11~15	III 重大な問題あり 速やかに対策する
休業災害、不休業災害	5点	可能性がある	2点	少ない	1点	7~10	II 問題が多少ある 優先的に対策いたします
軽度の微少災害	2点	少ない	1点			4~6	I 許容できる 指導教育をする

(現場確認写真及び写真など記入しても可)

<p>市民会館(館長と話し合い8月24日)</p>  <p>市民会館周辺の交差点です。弱視の方は歩道か道路が分かり難いようです。はっきり分かる色を塗って下さい。</p>  <p>立体的なポールに色を塗り歩道と道路の境界を明確にしました。</p>	<p>本庁舎1Fにはトイレまであります</p>  <p>赤い○印に付けます</p> 	<p>対策後</p>  <p>2011年6月20日 確認しました</p>	<p>参考例(メディアライブ)</p>  <p>参考例(子育て支援センターキラキラ)</p>  <p>手すりとブロックのポイントです</p>
--	--	--	--

三重県ユニバーサルデザインの町づくり推進条例施行規則と財団法人国際交通安全学会の両方を網羅されております施設です。

城田部長殿
市役所本庁舎対策ありがとうございました。
市民会館については、完成するまで現場確認してまいりますのでよろしくお願いいたします。

愛敬